

令和5年度 熊坂こども園教育活動への評価（園関係者評価）

保護者の園評価及び職員自己評価をもとに4名の評価者の方々に今年度の取り組みについて総合的評価をしていただきました。合わせて助言等をいただきましたので概要を皆様にお知らせします。評価結果は右表のとおりです。

※よくあてはまるA ままあてはまるB
あまりあてはまらないC あてはまらないD

領域	評価項目	評価
1 重点目標	① 心身ともに元気な子	A
	② 自分で考え行動する子	A
	③ みんなとなかよく遊べる子	A
2 こども園における教育・保育	① 発達の連続性を考慮した教育及び保育 ・個々の発達や経験差を充分把握、理解し、適切な援助を繰り返し行う。	A
	② 多様性への配慮 ・園児一人一人が伸び伸びと過ごし、安心して遊んだり生活したりできるようにする	A
	③ 環境を通して行う教育及び保育 ・一人一人が登園を楽しみにできるような環境をつくっている。	A
3 安全管理と指導	① 事故防止と防災 ・緊急時の対応を身に付ける	A
4 保健管理と指導	① 健康教育の充実 ・日常の健康観察や疾病予防、アレルギー対策のための取り組みが行なっている。	A
5 特別支援	① 支援体制づくりの推進 ・個の状況に応じて指導内容を考え、家庭と連携をとりながら、職員間の共通理解のもと指導にあたっている	A
6 組織運営	① 教育・保育の改善 ・全職員が組織の一員として運営に参画することを意識し、資質の向上に努めている。	A
7 研修体制	① 研修の充実 ・伊豆市の目標や園の研修テーマに向けて共通理解をもち、成果と課題を明らかにしながら研修する	A
8 教育環境の整備	① 安全な環境づくり ・定期的に安全点検を実施し、施設、設備の不備改善をしている	A
9 家庭との連携・協力	① 家庭との連携協力 ・おたより（園・クラス）や日々の送迎時に園の取り組みや子どもの姿を分かりやすく伝えることで家庭と連携できるようにしている	A
10 学校との連携・協力	① 近隣学校との連携・推進 ・保、こ、小の連携が円滑に行われている	A
11 地域との連携・協力	① 地域との連携・信頼される園づくり ・地域の教育力を生かした保育実践を行う	A

「園関係者評価会議で出された意見等」
 ○小学生が靴をきれいに揃えて脱いでいたが、こども園での指導が開花したと感じる場面があった。こども園は遊びを通してではあるが、資質・能力を向上させるということでは小学校と同じであると感じる。
 ○発表会で年長児が「みんなちがってみんないい」と歌っていた。小さい頃から、一人一人が違っているのが当たり前ということを教えている点が良い。
 ○身近な昆虫や小動物の成長を実際に飼育したり先生達に教えてもらったりすることで興味をもってより楽しむことができてよかった。
 ○昔は、地域での遊びの中で年齢が上の子が下の子に教え、学んでいっていた。今は、地域でのつながりを園が肩代わりして行なっていくしかないのかと思う。

3学期の様子



鬼退治!



「氷!？」



大根、抜けない...



親子ふれあい遊びでの、講師の見本。



お別れ会、年長児からプレゼント。「つかってね」



0,1歳児が小学校の築山に挑戦!



お母さんと一緒に!

月光天文台のプラネタリウム



次のリーダーは私達!(4歳児)

【ご意見・苦情について】
保護者から、保育教諭の園児への接し方についてのご意見を頂きました。全職員で共有し、再確認をしました。